

教育科目	テクノロジー・ハードウェア分野 I		教育内容	テクノロジー・ハードウェア分野 I		講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数 3 単位
授業目標	1. 基本情報レベルのテクノロジー分野関連知識を習得し、テクノロジー系の細目について説明できる。					
授業概要	基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術について学習する。					
成績評価 方法	定期テスト		前期	後期	その他（レポートなど）	
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期 回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT ワールド』（インフォテック・サーブ）					

教育科目	ストラテジ分野 I		教育内容	ストラテジ分野 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数	3 単位
授業目標	2. 基本情報レベルのストラテジ分野関連知識を習得し、各細目について説明できる。						
授業概要	「企業と法務」、「経営戦略」、「情報システム戦略」、「開発技術」について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT 戦略とマネジメント』（インフォテック・サーブ）						

教育科目	マネジメント分野 I		教育内容	マネジメント分野 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	3. 基本情報レベルのマネジメント分野関連知識を習得し、各細目について説明できる。						
授業概要	「プロジェクトマネジメント」、「サービスマネジメント」、「システム監査と内部統制」について学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『IT 戦略とマネジメント』（インフォテック・サーブ）						

教育科目	C 言語基礎 I		教育内容	C 言語基礎 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	<p>4. 基本的なアルゴリズムを設計、評価できる。</p> <p>5. C 言語によるプログラミングを学習し、基本的な文法を習得する。</p>						
授業概要	<p>基本的な探索アルゴリズムやソートについて学習する。</p> <p>基本的な文法を解説し、演習によりプログラムを作成する。</p>						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	14 回・後期	回	前期	回・後期	回
	<p>評定方法</p> <p>定期試験及び平常点により判定する。</p>						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	伊藤静香『アルゴリズムを、はじめよう』（インプレス）、 柴田望洋『新・明解 C 言語 入門編 第 2 版』（SB クリエイティブ）、自主作成教材						

教育科目	データベース技術 I		教育内容	データベース技術 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	(前期)・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	1. SQL の基本文法を身に付ける。 2. SQL を使い、要求されたタスクをこなすことができる。						
授業概要	SQL の文法のみならず、データベースの種類や役割・仕組みを学びながら、データベースの操作方法を学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	(前期)	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ (専門知識や資格等を有する)						
使用 テキスト等	中山清喬・飯田理恵子『スッキリわかる SQL 入門 第3版 ドリル 256 問付き!』(インプレス)						

教育科目	Web デザイン I		教育内容	Web デザイン I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数	1 単位
授業目標	6. ユーザビリティの高いデザインについて基礎知識を習得する。						
授業概要	初めに Web デザインの必要性について学ぶ。その後、配色やレイアウトなどを学習し、写真・図版やタイポグラフィなど情報伝達には欠かせない基礎知識を習得する。後半課題としてテーマを与え、利用者を想定した Web デザインを完成させる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期テストに代わるテーマ課題と日々の提出課題にて総合評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	赤間 公太郎, 狩野 咲, 鈴木 清敬『世界一わかりやすい HTML&CSS コーディングとサイト制作の教科書[改訂 2 版]』(技術評論社)						

教育科目	総合実践 I		教育内容	総合実践 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	<p>7. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。</p> <p>8. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業になれる。</p>						
授業概要	グループごとにデザイン、システム・企画の発案、設計、開発を行いながら複数人での開発作業を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する 専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	グループマネジメント I		教育内容	グループマネジメント I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	9. グループ作業に必要な情報伝達、マネジメント手法を習得する。						
授業概要	構成的グループエンカウンターなどのワークを通して、コミュニケーション技術、グループ運営の手法を体験から学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 振り返りレポートと出席率により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する 専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	カラーマネジメント I		教育内容	カラーマネジメント I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期 (後期)	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	10. 色の持つ特徴を捉え、色彩選びに必要な知識を習得する。						
授業概要	デザイン制作、システム開発における画面設計時の配色の選択・活用方法を学ぶ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	(後期)	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期 10 回	前期	回・後期	回	
	評定方法 定期試験および小テストの成績、平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	(実務経験を有する) ・ (専門知識や資格等を有する) IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	公益社団法人 色彩検定協会『色彩検定公式テキスト 3 級編：文部科学省後援』(A・F・T 公 式テキスト編集委員会) 株式会社ウイリング『必ず合格！色彩検定 3 級公式テキスト&問題集 2024 年度版』 (ナツメ社)						

教育科目	制作演習 I		教育内容	制作演習 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	11. 就職活動の制作物の提示にむけて活用できる作品を制作する 12. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 13. 開発に伴う文書作成、設計書の作成ができる。 14. 前期に制作した作品より技術的・規模的にもより大きな作品の制作を行う。						
授業概要	自主的な制作物を検討、実際の開発を通してシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行い、開発業務の全体像をつかむ。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	2回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	国家試験対策 I		教育内容	国家試験対策 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	16 コマ	単位数	1 単位
授業目標	3. 情報システム試験、情報セキュリティマネジメント試験、基本情報技術者試験に合格できる。						
授業概要	情報処理技術者試験に向けて必要な知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 各種検定の受験結果及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	<b>実務経験を有する</b> <b>専門知識や資格等を有する</b> IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 A 問題集』（インフォテック・サーブ） インフォテック・サーブ『基本情報技術者 科目 B 問題集』（インフォテック・サーブ）						

教育科目	SPI 対策 I		教育内容	SPI 対策 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	15. 就職試験で必要な SPI の知識を習得する。						
授業概要	SPI の非言語問題および言語問題を解き、知識を深める。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点（検定試験結果を含む）により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	【主要 3 方式〈テストセンター・ペーパーテスト・WEB テスティング〉対応】 これが本当の SPI3 だ! 2024 年度版（講談社）						

教育科目	Ruby 基礎 I		教育内容	Ruby 基礎 I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	30 コマ	単位数	2 単位
授業目標	16. Ruby によるプログラミングを学習し、基本的な文法を習得する。						
授業概要	基本的な文法を解説し、演習によりプログラムを作成する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	<b>後期</b>	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ <b>専門知識や資格等を有する</b>						
使用 テキスト等	高橋征義『たのしい Ruby 第 6 版』（SB クリエイティブ）、自主作成教材						

教育科目	JavaScript I		教育内容	JavaScript I			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	17. JavaScript の基本構文から組み込みオブジェクトまでを学習し利用できる力を身につける。						
授業概要	JavaScript の基本となる変数やデータ型、演算子や制御構文を学習する。その後、基本データを操作する形で組み込みオブジェクトの知識を習得していく。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 毎回課題を提出させ、定期テストと合わせ総合評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	狩野祐東『確かな力が身につく JavaScript 「超」入門 第2版』（SBクリエイティブ）						

教育科目	データベース技術Ⅱ		教育内容	データベース技術Ⅱ			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	18. システム上で動作する RDBMS について理解する。 19. 要求されたシステムに必要なデータベースを設計できる。						
授業概要	リレーショナルデータベースについて理解し、データベースの設計に必要な基本的知識を習得する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期試験及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	中山清喬・飯田理恵子『スッキリわかる SQL 入門 第3版 ドリル 256 問付き!』（インプレス）、自主作成教材						

教育科目	Web デザインⅡ		教育内容	Web デザインⅡ			講義
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	21 コマ	単位数	1 単位
授業目標	20. モバイルファーストを基本とした Web デザインを学習し、PC など端末ごとのデザインも考慮しサイト全体の制作を学習する。						
授業概要	モバイルサイト制作に必要な CSS プロパティ・メディアクエリなどの知識を学習する。その後テーマを決め、スマートフォンなどのモバイル端末を主体としたサイト制作に取りかかる。デザインに必要な情報を整理し、ワイヤーフレームなど必要なものを作成した後、作成された資料をもとにコーディングしていきサイトを完成させる。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 定期テストに代わるテーマ課題と日々の提出課題にて総合評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	飯塚将弘『すぐに作れるずっと使える Inkscape のすべてが身に付く本』（技術評論社）、 土屋徳子『すぐに作れるずっと使える GIMP のすべてが身に付く本』（技術評論社）						

教育科目	総合実践Ⅱ		教育内容	総合実践Ⅱ			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	45 コマ	単位数	3 単位
授業目標	21. ウォーターフォールモデルに沿ったシステム開発を行い、開発の流れを理解する。 22. 複数人での合意形成、情報共有を行いながら複数人での作業になれる。 23. 開発に伴う文書作成、設計書の作成ができる。						
授業概要	グループごとにウォーターフォールモデルを用いてシステム設計から開発テストまで実際の開発作業の流れに沿ってシステム開発を行う。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 成果物の提出、発表及び平常点により判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する 専門知識や資格等を有する IT 企業でのプログラマーとしての実務経験 実務経験を活かして知識・技術・グループワーク・プレゼン方法等を教授						
使用 テキスト等	自主作成教材						

教育科目	企業体験実習 I		教育内容	企業体験実習 I			実習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数	1 単位
授業目標	24. IT 企業での仕事内容を体験し、職業イメージをより具体的にする。						
授業概要	企業内で、実際のエンジニアの仕事を見学・体験することで、IT 技術者としての目標を明確化、就職活動のきっかけとする。(事前指導 1 コマ、事後指導 1 コマを含む)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評価方法 企業からの評価と出席率によって判定する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する・専門知識や資格等を有する 企業等担当者の実務経験 企業担当者が実務経験を活かして職業観や職務内容について教授						
使用 テキスト等	なし						

教育科目	ビジネススキル I		教育内容	ビジネススキル I			講義		
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・ <b>後期</b>	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位		
授業目標	25. ビジネスマナーを習得する。 26. ビジネス能力検定ジョブパス 3 級を目指す。								
授業概要	職業人として必要なコミュニケーションの基本及び仕事の実戦について学ぶ。また、ビジネス能力検定 3 級の練習問題や過去問題を通して理解を深める。								
成績評価 方法	定期テスト	<b>前期</b>	後期	その他（レポートなど）					
	小テスト	前期	回・後期	回	前期			回・後期	回
	評定方法 定期試験結果、小テスト、出席率をもって評価を行う。								
評定基準	『坪内学園教務規程』による								
担当教員	<b>実務経験を有する</b> ・ <b>専門知識や資格等を有する</b> 中等教育機関で教授・進路指導の実務経験 実務経験を活かし、ビジネスマナーや面接に生かせる知識を教授								
使用 テキスト等	一般社団法人職業教育キャリア財団「ビジネス能力検定公式ジョブパス 3 級公式テキスト」 (日本能率協会マネジメントセンター) 一般社団法人職業教育キャリア財団『ビジネス能力検定公式ジョブパス 3 級公式問題集』 (日本能率協会マネジメントセンター)								

教育科目	キャリア演習 I		教育内容	キャリア演習 I ・ 人間性と社会性 I		演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	17 コマ	単位数 2 単位
授業目標	27. 履歴書の書き方(自己分析・企業分析含む)理解 28. 就職活動に必要な知識・マナーの習得 29. 採用試験に向けた面接の基本を習得 30. 就職活動早期取り組みへの意識付け 31. 職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培う。 32. 社会の中での自己の在り方生き方について認識させ、働くことの意識付けや豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を養う。					
授業概要	履歴書指導により自己分析を行い、合同企業・法人ガイダンスにより企業分析及び就職活動への意識を向ける。また、ガイダンスに向けた身だしなみ、就職活動に必要な基礎知識を身に着ける。学生と社会人で異なるコミュニケーション能力を知り、事例を通じてビジネスにおけるコミュニケーションスキルを理解する。 社会性とは何か、事例を通じて適応的人間関係を構築できる態度について考える。					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他(レポートなど)		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期
	評定方法 提出物、報告書等及び取り組み状況により判定。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリント等					

教育科目	工業・社会 I		教育内容	新入生研修 I ・ 総合体育 I 企画マネジメント I ・ 総合体育 II		演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	25 コマ	単位数 2 単位
授業目標	33. マナーの大切さを理解し、集団行動としての協調性を養う。 34. 日頃の授業の成果を発揮し、今後の活動に活かすことができる。 35. 自ら率先する力を養う。					
授業概要	新入生研修、スポーツ大会、学園祭など					
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）		
	小テスト	前期	回・後期	回	前期 1 回・後期 1 回	
	評定方法 出席率及び取り組み状況の評価等の平常点をもって評価する。					
評定基準	『坪内学園教務規程』による					
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する					
使用 テキスト等	自主作成プリントなど					

教育科目	実践ボランティア ※自由選択科目		教育内容	ボランティア活動			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	(前期)・(後期)	授業コマ数	8 コマ	単位数	1 単位
授業目標	36. ボランティアを通して、社会や地域のもつ教育力を有効に活用し、奉仕の精神とコミュニケーション能力、主体性を兼ね備えた人材の育成を図り、社会人としての心構えを育む。						
授業概要	事前指導・事後指導に参加する。(1 コマ) 地域社会や企業・施設等でボランティア活動を行う。(7 コマ)						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他 (レポートなど)			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 報告書、ボランティア実施先の参加証明、事後指導の提出物により判定。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等							

教育科目	MOS 演習 I		教育内容	MOS 演習 I			演習
学 科 開講学年	IT 学科 1 年	開講期	前期・後期	授業コマ数	15 コマ	単位数	1 単位
授業目標	37. Excel を習得し、MOS 試験に合格する。						
授業概要	マイクロソフト Excel の一般的使い方から応用的使い方までを学習する。						
成績評価 方法	定期テスト	前期	後期	その他（レポートなど）			
	小テスト	前期	回・後期	回	前期	回・後期	回
	評定方法 授業内での実技試験評価と検定試験合格状況をもって 100 点満点で評価する。						
評定基準	『坪内学園教務規程』による						
担当教員	実務経験を有する ・ 専門知識や資格等を有する						
使用 テキスト等	よくわかるマスター Excel 365&2019 対策テキスト&問題集(FOM 出版)						